教育長表敬に来られる高校生の活躍紹介

学びの改革支援課

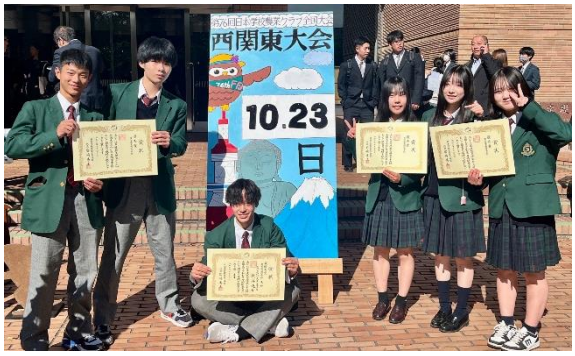
１　下伊那農業高校の熊谷遼希さんが第 76 回日本学校農業クラブ全国大会の農業鑑定競技会果樹分野で最優秀賞を受賞。（１月 22 日（木）教育長表敬訪問）

令和７年 10 月 22 日（水）、23 日（木）に山梨県を中心に行われた第 76 回日本学校農業クラブ全国大会で実施された農業鑑定競技会に出場。この競技会は、野菜、畜産、森林などの 10 分野に 957 名が出場し、農業の鑑定、判定、計算、審査などに関する問題について、実物や写真などを見て、その名称や特徴、使い方などを答えた。熊谷さんは果樹分野に出場し、最優秀賞を受賞した。

【生徒のコメント】

自分の殻を破りたいという気持ちから挑戦を決め、夏休みも勉強のためにほぼ毎日学校に通いました。最優秀賞を受賞し、喜びより驚きの方が強いです。ここで得た知識を今後も生かしていきたいです。

表彰式の様子（※熊谷さん：左から２番目）



農業鑑定競技会に出場した
下伊那農業高校の生徒の皆さん
（※熊谷さん：左から３番目）

２　飯田 OIDE 長姫高校原動機部が「2025 Ene-1 MOTEGI GP」のカテゴリー「KV-40」で、総合優勝を達成。（１月 23 日（金）教育長表敬訪問）

令和７年 11 月９日（日）に栃木県茂木町のモビリティリゾートもてぎで開催された「2025Ene-1 MOTEGI GP」において３輪以上のカテゴリー「KV-40」に出場。充電式単三電池 40 本を使用して走行する車両を製作し、１周 3.6 キロメートルのコースを３回のタイムアタックの合計タイムで順位を競う。高校部門での優勝に加え、中学校から高専、大学、一般を含む計 30 チームのトップに立つ総合優勝を果たした。

【生徒のコメント】

・自分が作ったモーターとドライバーの技術で優勝できびっくりした。来年は連覇したい。
・雨天時の走行対策を十分にしたことが成果に繋がったと思います。

原動機部の皆さんと優勝車体「WISDOMα」

「WISDOMα」レース走行中の様子